

平成30年12月定例会

市議会だより



▲ 基隆市(台湾)答礼訪問団の歓迎式典

平成30年12月定例会会期日程

11月26日(月)	本会議／開会
12月 4日(火)	本会議／質疑・一般質問
7日(金)	
11日(火)	建設環境委員会
12日(水)	文教福祉委員会
13日(木)	経済企業委員会
14日(金)	総務委員会
20日(木)	本会議／討論・採決

目次

● 11月臨時会	2
● 12月定例会	2・3
● 委員長報告	4・5
● 質疑・一般質問	6～10
● H29年度決算報告	11・12
● 特集	13・14
● 採決結果	15
● 編集後記	16

編集・文責／八代市議会広報委員会

十一月臨時会

去る十一月二日の一日間、臨時会が開かれ、市長から議案三件が上程されました。今回の臨時会は、補正予算等の専決処分の報告及びその承認についてであり、審査の結果、それぞれ原案のとおり可決、承認されました。

◆平成三十年度八代市一般会計補正予算・第九号

○補正予算額 三千六百六十万円

猛暑に起因する健康被害の発生状況等を踏まえ、早期に子供たちの健康維持と学習しやすい教育環境を確保するため、空調設備の設置に必要な経費を補正するもの。

◆専決処分の報告及びその承認について

(平成三十年度八代市一般会計補正予算・第八号)

○補正予算額 八百四十万円

平成三十年八月三十日に、清掃センター周辺の水稻、花卉等が枯れる事案が発生し、調査の結果、焼却を行った際の煙が影響していると判断した。この結果を踏まえ、対象耕作者に対する補償等を早急に行う必要があることから、その経費を補正するもの。

◆八代市病院事業の設置等に関する条例及び国民健康保険八代市立病院条例の廃止について

平成三十年度をもって国民健康保険八代市立病院を廃止することに伴い、病院事業及び市立病院設置に関する条例を廃止するもの。

YATSUSHIROSHI

12月定例会

GIKAI

12月定例会は、11月26日から12月20日まで開催され、条例議案7件、予算議案15件、人事議案3件、その他12件を審議しました。

主な議案は次のとおりです。

予算

(主なものを
抜粋して掲載)

平成30年度一般会計補正予算

可決

平成30年度一般会計補正予算

980,200 千円

ブロック塀改修事業 10,537 千円

事業名	施設名	事業費	財源内訳
			市 債
小学校ブロック塀改修事業	代陽小学校ほか14校	5,732 千円	5,400 千円
中学校ブロック塀改修事業	第一中学校ほか7校	3,164 千円	3,000 千円
特別支援学校ブロック塀改修事業	八代支援学校	384 千円	300 千円
幼稚園ブロック塀改修事業	太田郷幼稚園ほか2園	1,257 千円	1,100 千円

緊急性が高く早急に安全性を確保する必要がある学校施設などのブロック塀等については、すでに撤去や改修を進めているが、今回、残りの学校施設についても、早期に安全対策を図る観点から、国の動向を踏まえた上で、改修等に必要な設計を行うもの。

空調設備設置事業 921,354 千円

事業名	施設名	事業費	財源内訳	
			国庫支出金	市 債
小学校空調設備設置事業	泉小学校	19,826 千円	2,407 千円	16,500 千円
中学校空調設備設置事業	第一中学校ほか14校	729,962 千円	104,475 千円	603,800 千円
幼稚園空調設備設置事業	太田郷幼稚園ほか5園	171,566 千円	15,142 千円	149,700 千円

国の補正に伴い、平成31年度に予定していた事業を前倒しし、早期に子供たちの健康維持と学習しやすい教育環境を確保するため、空調設備の設置に必要な経費を補正するもの。

条例制定・改正など

可決

◆指定管理者の指定について

本市が設置する公の施設の指定管理者を指定するため、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を求めるもの。

【施設名】	【指定管理者となる団体】	【指定の期間】
八代市有線テレビジョン放送施設等	テレビやつしろ株式会社	平成31年4月1日～ 平成34(西暦2022)年3月31日
八代市泉地域福祉センター、八代市泉憩いの家、 八代市五家荘ディサービスセンター、八代市柿迫 生きがいセンター	社会福祉法人八代市社会福祉協議会	
八代市がらっぱ広場	まちなか活性化協議会	
サンライフ八代	一般財団法人サンライフ八代	平成31年4月1日～ 平成36(西暦2024)年3月31日
八代市さかもと温泉センター、八代市坂本憩いの家、 八代市広域交流センターさかもと館	さかもと温泉センター株式会社	
八代市ふれあいセンターいずみ、八代市農林産物 流通加工施設	株式会社いずみ	

◆八代市下水道条例の一部改正について

◆八代市農業集落排水処理施設条例の一部改正について

◆八代市浄化槽条例の一部改正について

八代市で実施している「汚水処理事業」のうち、公共下水道事業、農業集落排水事業及び浄化槽市町村整備推進事業の3事業については、これまで生活環境の保全・向上のため、地域の特性に応じて、受益者の方々に使用料の負担をいただきながら事業経営が行なわれている。しかしながら、3事業ともいまだ汚水に係る費用に見合う料金には至っておらず、財源不足分を一般会計からの繰入金（税金による負担）などにより補填している状況である。税の負担の公平性の観点から適性な受益者の負担を検討し、経営の健全化を目指すために今回、4年毎の段階的な使用料の改定を行なうもの。

公共下水道事業（旧八代市、千丁町、鏡町で実施）の平均使用料改定率 6.32%

農業集落排水処理施設事業（東陽町、泉町で実施）の平均使用料改定率 7.5%

浄化槽市町村整備推進事業（東陽町、泉町で実施）の平均使用料改定率 7.5%

（平成31年4月1日施行）

◆八代市介護保険条例の一部改正について

現在、地域支援事業（任意事業）として実施している紙おむつ、尿とりパッド等の介護用品の支給については、厚生労働省において、「保険給付における市町村特別給付として実施されるべきもの（地域支援事業（任意事業）の対象外）」と見直されたことに伴い、市町村特別給付として介護用品購入費の支給を行うため、所要の改正を行うもの。
（平成31年4月1日施行）

◆八代市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正について

◆八代市長等の給与に関する条例の一部改正について

◆八代市一般職の職員の給与に関する条例及び八代市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について

平成30年度の人事院勧告等を受け、議員及び市長等の期末手当の支給率を改定し、並びに職員の給料表、初任給調整手当、勤勉手当の支給率等を改定し、あわせて任期付職員のうち特定任期付職員の給料表及び期末手当の支給率を改定するもの。

委員長報告

全ての議案を本会議できめ細かく審議することは効率的でないため、八代市議会においては、所管の各委員会に付託され審査がなされています。委員会で審査・調査を行った結果は、委員長から本会議において報告が行われます。

ここでは、十二月二十日に行われた委員長報告を抜粋して掲載いたします。

建設環境委員会

◆議案第百五十一号・八代市下水道条例の一部改正について

説明 下水道使用料の改定については、昭和五十九年から、おおむね四年ごとに改正を行っているが、汚水処理に係る維持管理費と資本費などの経費について、その一部を一般会計からの繰入金などにより補填をし続けることは、税の公平性の観点から望ましくないので、適正な受益者負担の水準を検討し、下水道経営の健全化を目指すために、平成三十一年度からの使用料の改定について、八代市公共下水道事業審議会に諮問したところ、平均改定率六・三二%の値上げが妥当である旨の答申を得たことから、今回、その答申に基づいて改定を行うものである。

問 市は受益者へ負担を求めるだけでなく、受益者へ毎月発行している領収書つきのはがき等の通知について、経費削減のため発行方法について検討する必要があるのではないかと検討していく。

答 領収書の発行については、市からの他の通知状況も十分参考にし、経費削減については検討していく。

その他の主な質疑

○受益者に対する使用料改定の趣旨等の説明について

○下水道施設の長寿命化及び事業縮減に対する考えについて

文教福祉委員会

◆議案第百五十五号・平成三十年度八代市一般会計補正予算・第十二号・小学校空調設備設置事業、中学校空調設備設置事業、幼稚園空調設備設置事業について

問 空調設備設置工事に係る施工業者の選定方法について

答 本工事の施工については、市内の業者を予定しており、契約検査課と協議しながら進めていきたい。

問 空調設備設置後の管理についても市内の業者で行うのか

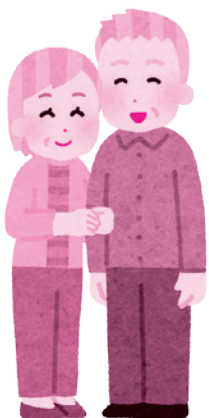
答 メンテナンスについても市内の業者に委託したいと考えている。

◆議案第百五十四号・八代市介護保険条例の一部改正について

説明 本改正は、国において、介護用品の支給については、地域支援事業の任意事業から、市町村特別給付へと見直されたことに伴い、所要の改正を行うものである。

問 市町村特別給付となった場合の財源について

答 これまでの地域支援事業の場合は、保険料及び国・県・市町村がそれぞれの割合に應じた公費負担を行っていたが、今後は公費負担がなくなり、全額保険料で賄うこととなる。



経済企業委員会

◆議案第百三十一号・平成三十年度八代市一般会計補正予算・第十一号・食育推進育成事業について

説明 本事業は、県の学校給食支援等事業補助金を活用し、学校給食における地産地消を推進するため、地域内食材を初めとした県産食材の流通システムモデルづくりに資する活動に要する経費を補正するものである。具体的な内容としては、流通システム構築に向けた研修活動としての、講演会における講師謝礼及び商品開発や流通システムづくりに係る指導謝礼二十八万八千円、それらの旅費五万千円、地元産品を活用した加工品の開発に必要な消耗品費三万九千円、賄材料費十万円、講演の会場使用料六千円を予定している。

問 講演会の講師及び開催回数について

答 商品開発や流通システム構築に関するアドバイザーとして予定している、東陽地区ふるさと公社の主任を講師とし、講演会については、八回開催する予定である。

問 流通システムモデルづくりの概要と取り組み状況について講演会の講師及び開催回数について

答 今回の本事業はアドバイザー招聘が主なものであり、本市には、学校給食向けに使用できる要素の食材はあるものの、値段や流通等の問題があることから、当該アドバイザーとともに商品開発や流通システムづくりに加わっていただき、地産地消を推進していく予定である。

総務委員会



◆議案第百五十五号・平成三十年度八代市一般会計補正予算・第十二号

説明 今回の補正予算における人件費補正の主な要因は、人事院勧告に基づく給与改定、人事異動、退職者や休職者及び育児休業者、市町村職員共済組合負担金の率改定などによるものである。なお、今回の給与改定の内容については、給与水準を平均〇・一六%、期末勤勉手当を〇・〇五月分引き上げるもので、若年層に重点を置いた改定となっている。

問 人事院勧告は、公務員と民間との給与水準の均衡を図るためのものと理解しているが、本市職員と市内の民間企業との給与比較は行われているのか。

答 本市では、直接、市内企業との給与比較は行っていない。その理由として、まず、人事院及び熊本県人事委員会において、勧告のための官民給与比較については、単に企業の平均給与との比較を行うことは適当ではないとの考えから、行政職と同種かつ同等のものの同士による給与比較が可能である、規模が五十人以上の民間企業を無作為に抽出し、実施されているところである。仮に本市において、行政職との給与比較が可能な五十人以上の規模を持つ民間企業を対象とした場合、適正な検討を行うだけのデータが集まらないと考えられることから、本市では、官民給与比較は行わず、人事院及び熊本県人事委員会の勧告を準拠することとしている。

その他の主な質疑

○熊本県人事委員会としての県内給与水準に対する認識について

意見 市民の中には、市職員の給与引き上げに対して厳しい意見がある一方で、市内での消費をふやし、経済活性化に寄与してほしいとの意見もあることから、そのような市民の声を職員に伝えていただくとともに、給与引き上げに対する市民の不満を払拭するような取り組みを期待したい。

質疑 一般質問



議案に対する質疑と市政の各般にわたる一般質問は、12月4日から7日までの4日間、13人が通告・登壇し、幅広い活発な議論が展開されました。

主な質問のあらましと答弁の要旨は、次のとおりです。(通告順)

質問通告

- 八代市立病院について
- 企業誘致施策について



高山 正夫



◆八代市立病院について

問

市立病院については、平成三十一年四月一日付で再編決定。「外来診療の現地継続」は、診療科目を増設させて熊本総合病院が引継ぐこととなった。特に要望が強かった宮地校区民にとっては、念願叶った。しかし、赤字であれば、即撤退ではないか等一部心配の声を聞く。外来診療内容と協定期間等の心配及び、再編後の本市の関わりについて、考え方を問う。

答

市長 平成三十一年四月一日からは、「熊本総合病院附属クリニック」として、これまでの診療科目に加え、新たに整形外科がふえるとのこと。また、十年間という協定期間については、社会環境を考慮した上での適切な期間と考え、市からの継続の求めがあった場合は経営状況や施設・設備の状況、市の財政支援の見込み等を総合的に判断し継続の有無を決定することとしている。なお、再編後についても、協定に基づき検証を行っていく体制づくりを現在協議している。

質問通告

- 障害者福祉施策について
- 障害児福祉施策について
- 認知症高齢者施策について
- 高齢者への肺炎球菌ワクチンについて



橋本 隆一



◆認知症高齢者施策について

問

本市においては、平成二十七年一月に施行された、認知症施策推進総合戦略、いわゆる新オレンジプランに基づき認知症施策の推進に取り組んでいると認識している。そこで、本取り組みの中における「認知症高齢者見守りネットワーク事業」の進捗状況について伺う。

答

健康福祉部長 「認知症高齢者見守りネットワーク事業」は、認知症高齢者が徘徊により行方不明となることの未然防止や、その搜索を容易にすることを目的としている。他の自治体の事例として、高齢者の着衣や靴等に専用のGPS端末を取りつけ、自宅を離れた場合にスマートフォン等で検索し、居場所を探すができる機器の利用に際し、費用の一部を助成する事業等が行われている。このような事例を参考に、実施に向けた具体的検討を行っている。



野崎 伸也



質問通告

- クルーズ客船寄港について
- 水産業振興について
- 本町アーケードの空き地について
- 指定管理委託について
- 本市の教育及び障害者に対する施策の充実について

◆水産業振興について

問 本市の漁業従事者の高齢化と後継者不足は深刻な状況と危惧している。そこで、漁業従事者の現状と後継者対策について伺う。また、他自治体が後継者育成対策で取り組んでいる、新規就業者への期間を設けた所得補償や就業前の研修。就業に係る経費への補助、就業後の支援など本市も同様の制度を創設し、積極的に取り組むべきと思うが考えを伺う。

答 農林水産部長 本市における漁業者数は減少傾向にあり、後継者不足や高齢化等の課題がある。このような中、本市では、漁業者の所得向上を図り、漁業の魅力を高めるため、水産資源の回復と増加、魚価の安定化に資する施策を行っている。

主な取り組みとして、つくり育てる栽培漁業の推進、県営覆砂事業によるアサリ漁場整備やナルトビエイ等の食害対策を行っている。今後は、現在策定中の水産振興ビジョンにおいて方向性を示し、本市の水産業の振興を図る。



鈴木田 幸一



質問通告

◆鏡西部小学校について

- 鏡西部小学校について
- 八代・天草架橋について

問 平成二十六年、学校規模適正化により八代市立鏡西部小学校の統廃合が提出された。その事に対し、地元野崎地区から「統廃合反対」の声が出た。これに対し、八代市教育委員会は、地元説明をくり返し、またアンケート等の調査を行いながら、説得を続けている。そこで、これまでの経緯と今後の方向性についてを問う。

答 教育部長 鏡西部小学校の統廃合については、地域の方々の理解が十分得られていないことから、当初の計画より時期を二年延ばし、平成三十年度末の統合を目指し地域懇談会や地域代表者との懇談会を重ねてきた。

平成三十年五月のアンケート調査では、賛成と反対が同数であったが、保護者の理解は徐々に得られつつあるようだ。

地域の理解をさらに深め、子供たちが安心して通学できる環境を整えるため、時期をさらに一年延期し、鏡小学校と統合する方向で準備を進めている。



大倉 裕一



質問通告

- 障害者相談支援事業について
- 一般廃棄物収集運搬業務委託での死亡事故について
- 学校給食における残渣処理について
- 平成三十年度人事院勧告に伴う職員給与等の考え方について

◆学校給食における残渣処理について

問 本市の給食センターから排出される給食残渣等の排出方法とその処理の現状を尋ねる。

答 市民環境部長 八代市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例施行規則に基づき処理している。同規則では、一週当たり七十キログラムを超えるときはごみ集積所に排出しないよう指示するとあり、これに該当する六施設では、ごみの収集を一般廃棄物収集運搬業者に委託している。同規則に該当しない残りの九施設では有料指定袋を使わずに排出している。

問 有料指定袋を使わずに排出していることはおかしいと思うが、今後の対応を伺う。

答 市民環境部長 九施設については有料指定袋に入れて排出するように変更する。

問 事業系ごみは自らの責任で処理することが原則で、同規則は法律に抵触していないか伺う。

答 市民環境部長 ごみの排出が少量の個人商店の取り扱いなど考慮し設定したものであり、法律に反するものではない。



古嶋 津義



質問通告

- よかボス宣言について
- 放課後児童クラブについて
- 地方創生について
- 耕作放棄地について
- 防災対策について

◆放課後児童クラブについて

問 現在、一カ所につき二人以上の児童支援員の配置が義務付けられているが、来年度からの厚労省方針では、一人でも容認し、あわせて職員の資格基準も緩和されるようである。ただ課題としては、「利用を希望しても、定員いっぱいでは利用できない」「開設時間の延長や日曜日の開設はできないか」等の要望が寄せられている。その対応を伺う。

答 健康福祉部長 待機児童の状況は施設の整備等により年々減少しているが、現在も解消には至っていないため、今年度も二クラブの整備により定員の増加を図る。今後も計画的な整備を進める。平日の開所時間の延長は、利用者のニーズに合わせ各クラブで開設時間の設定をしている。日曜日の開設は各クラブの判断となるが、開設するクラブに対しては、引き続き開設への加算補助等の支援を行う。

今後利用者とのニーズや意見を踏まえ、放課後児童クラブのさらなる充実に努める。



西濱 和博



質問通告

- 障害児支援政策の充実・強化に向けた取り組みについて
- 本市における子供・子育て支援政策の新たな展開について

◆本市における子供・子育て支援政策の新たな展開について

問 平成三十年度から全国の都道府県及び地方自治体に、障害児福祉計画の策定が義務付けられたことにより、各自治体における放課後等デイサービス事業における一人一月当たりの平均利用日数が見てとれるようになった。

本市における平均利用日数の実数は、県内において低い数値となっており、その理由は、本市の内部規定である支給決定基準そのものに考えるべき点があると思われる。早急な見直しが求められると考えるが今後の対応を伺う。

答 健康福祉部長 平均利用日数が少ないことを踏まえ、改めて支給決定基準を年度内に検討する予定。

問 近年、特別な支援を必要とする子供たちは、年々増加傾向にある。そこで、特別支援教育を総合的・計画的に推進していくための基本的な指針としての特別支援教育推進計画の策定を提案するが、今後の対応について伺う。

答 健康福祉部長 同計画の策定は必要と認識しているので、策定に向けて検討する。



上村 哲三



質問通告

- 有害鳥獣被害対策について
- 移住・定住促進施策について

◆有害鳥獣被害対策について

問 有害鳥獣被害対策については、本市猟友会三支部の会員の中から、八代五十二名、坂本十一名、東陽十八名、泉三十七名が八代市鳥獣被害対策実施隊の隊員として従事されている。しかし、近年は猟友会会員数の確保が難しく、さらに会の運営も厳しくなっていると聞いている。そこで、各猟友会支部の現状と課題、また、本市としての対策について伺う。

答 農林水産部長 有害鳥獣による農林産物への被害は、住宅地近郊においても目立ち、銃による捕獲が困難であることから、被害が減少しない状況にある。

また、捕獲者の高齢化と人員の確保・育成が課題である。今後の対策としては、わな免許取得を推進し、地域住民一体となった捕獲体制づくりを行い、被害減少につなげていく。

さらに、捕獲した有害鳥獣を安全で良質なジビエとして安定供給を目指し、関係者と連携してジビエの認知度を高め、需要の創出を図り普及に努める。



亀田 英雄



質問通告

○森林環境譲与税（仮称）の使途について
○TPP発効による本市への影響について
○高レベル核廃棄物の最終処分場受け入れ
に対する本市の対応について

◆高レベル核廃棄物の最終処分場受け入れに
対する本市の対応について

問 去る十月二十日に、核ごみの受け入れに
ついて説明会が行われたが、これまでの経
緯・状況など本市の対応を尋ねる。

答 総務企画部長 国が最終処分場等への国
民の関心や理解を深めてもらうため、全国
六十六都市、県内では熊本市で二回と本市で
開催したものである。一部の住民から、開催
中止の要請があつたが、あくまで、国の主催
であり市として意見する立場にない。

問 市長にこの件についての考えを尋ねる。
また、市の姿勢を示すため、受け入れないた
めの条例などを制定し、この問題に対する強
い意志を示す考えはないか伺う。

答 市長 本市は日奈久断層を抱えており、
処分場として適地ではないと思っている。受
け入れた場合、風評被害は計り知れず絶対に
避けなければならない。改めて、最終処分場
は受け入れないと明言し、条例制定など全国
の状況について情報を集めたい。



橋本 徳一郎



質問通告

○八代市立病院廃止に伴う基本協定について
○教員の働き方改革について
○九州新幹線の騒音・振動問題について

◆教員の働き方改革について

問 現場教員から、授業数や研修が多く、と
にかく忙しいとの声が出ている。文科省から
も学校における働き方改革の通達文書も出て
おり、平成二十八年実態調査の速報で長時間
時間外労働も多数報告されている。根本的な
解決策は教員の増員。そこで、義務教育にお
ける三十五人学級の完全実施及び教員の働き
方改革に向けた本市の取り組みについて問う。

答 教育部長・教育長 三十五人学級の完全
実施については、教職員増員のための人件費
や教室の確保・増築等、多額の経費が必要と
なるため、現時点における本市独自の導入は
困難であると考えている。

教員の働き方改革を推進するために、学校
現場の声を反映させながら基本方針の策定に
着手している。引き続き、教職員が効果を実
感できる業務改善の実現を目指すとともに、
児童生徒一人一人に寄り添ったより質の高い
教育の提供に努めていく。



谷川 登



質問通告

○本市の過疎対策について
○本市の観光振興について

◆本市の過疎対策について

問 八代市過疎地域自立促進計画が策定され、人
口減少、高齢化対策等取り組まれている。そのよ
うなかであるが、人口減少に歯どめがきかず、地
域産業である農家、林家戸数も減少。後継者不足。
また、生活環境にあつては、買物弱者の増加、
地区共同作業等の集落機能も低下傾向にある。過
疎地域の交通弱者対策及び集落機能維持強化等、
本市の考えを伺う。

答 総務企画部長 交通弱者対策については、
過疎地域を初め、全ての市民にとって、利便性
の高い公共交通網を整備する必要がある。そ
の際効率的な公共交通サービス提供の観点か
ら、地域におけるニーズを十分把握し、状況
に応じてどのような公共交通が適切なのかを
検討する必要があると考えている。

また、集落支援員制度及び地域おこし協力
隊制度の活用については、クリアすべき要件や
課題等を洗い出し、制度の活用に向けて、事
前の調整などを行ってまいりたい。



太田 広則



質問通告

○中学三年生を対象としたピロリ菌検査について
 ○分譲住宅における私道整備への助成について
 ○麦島城崩壊四百年に対しての本市の取り組みについて

◆中学三年生を対象としたピロリ菌検査について

問 ピロリ菌検査の導入は三回目の質問となる。地下水世帯が五十%と多い本市は、ピロリ菌の地下水に生息する特性から、若い世代にとっても非常に脅威と考える。天草市のように、中学三年生の健康診断の尿検査におけるピロリ菌有無の検査は、胃がんの早期発見、早期治療の観点からとても有効な検査と考える。市長の検査導入の考えを問う。

答 市長 ピロリ菌検査及びその助成を求める署名は、重く受け止めており、市民の期待は十分理解している。中学三年生を対象としたピロリ菌検査については、他自治体の状況等を含め、総合的な検討が必要と考えている。ピロリ菌検査は、胃がん発生の一次予防として有効であると認識しており、本市の胃がん対策の中で検討していきたい。



村山 俊臣



質問通告

○市民の防災意識の向上及び地域コミュニティの活性化について
 ○植柳小学校栽柳園の環境整備について
 ○八代民俗伝統芸能伝承館（仮称）の基本設計及び今後の取り組みについて

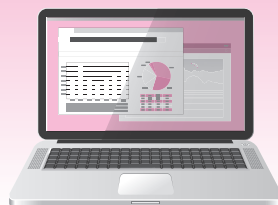
◆植柳小学校栽柳園の環境整備について

問 栽柳園には、清明の池、白鳥の池がある。そのうち清明の池においては、球磨川からの水の引き込みが止められて以来、池の浄化に苦慮している状況である。現在、学校や地域で行っている池の泥上げには限界があり、池の浄化等の課題解決にはつながっていないのが現状である。そこで、池の浄化について、これまでの経緯と今後の対策について伺う。

答 教育部長 昭和四十三年に井戸ポンプを設置し、地下水をくみ上げている。定期的に井戸ポンプの更新を行っているが、水量が少なく池のよどみ・濁りの一因となっている。平成二十四年に植柳校区から池の浄化について陳情があり、検討を行ったが、実施が困難であると判断したところである。平成三十年十月の市政懇談会において、校区から強い要望があったことから、改めて調査し、井戸ポンプの能力アップや増設など有効な改善策を検討していく。

本会議・常任委員会 LIVE 中継（生中継）

視聴の方法は、市議会ホームページの
「インターネット議会中継」
「中継ライブラリ」をご覧ください。



また、本紙面から、各議員の顔写真の下にある二次元コード（QRコード）をスマートフォンやタブレット端末で読み取ると、その議員の一般質問の動画を簡単に見ることができます。

※視聴にかかるデータ通信料等は、ご本人の負担となります。

※八代市議会では、各議員が一般質問をした録画映像を公開しています。

なお、録画映像の配信内容は、八代市議会の公式記録ではありません。

八代市ホームページアドレス <http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/>

平成 29 年度一般会計・特別会計歳入歳出決算を認定！

12月定例会開会日に、各常任委員会から、延べ4日間にわたって開催された委員会での審査結果の報告があり、一般会計及び各特別会計歳入歳出決算が認定されました。ここでは、その委員長報告を抜粋して掲載いたします。

一般会計

歳 入 705 億 7,192 万 1,000 円

歳 出 660 億 218 万 4,000 円

特別会計 (10 件)

歳 入 374 億 578 万 1,000 円

歳 出 371 億 3,538 万 9,000 円

文教福祉委員会

◆不登校児童生徒の適応指導事業について

本事業は、適応指導教室くま川教室において、不登校状態にある児童生徒に対し、学習指導やボランティア活動等を通じた適応指導などを行い、学校復帰や社会的な自立を支援するもので、決算額は八百十万二千円で、その主なものは、指導員八人分の賃金である。

問 くま川教室に通級する児童生徒の推移について

答 一昨年度の通級生徒は体験の生徒を含めると延べ二十一名であった。また、昨年度の通級生徒は体験の生徒も含めると延べ三十五名であった。なお、本年度は一学期までの通級児童生徒は体験の生徒を含めると延べ二十二名である。

問 今後カリキュラムを見直す理由について

答 現在、小学生及び特別支援学級在籍の生徒から通級希望があっている。しかし、現在、本教室への通級は中学生だけとなっており、小学生と中学生と一緒に学習させることができない。また、特別支援学級についても、カリキュラムが違う。そこで、それぞれに対応したカリキュラムの見直しを行う必要がある。

意見

- ・インターネットを活用した、いじめ等の簡易な相談窓口の設置を検討していただきたい。
- ・小学校ICT支援事業に関連し、ハード整備はもとより、教職員の人材育成にも取り組んでいただきたい。

建設環境委員会

◆空き家バンクについて

問 空き家バンク登録の進捗状況について

答 平成二十九年度当初において、チラシの配布等を行った結果、前年度と比べ七倍近い百七十件弱の相談があったものの、その後、実際に登録された件数は八件であり、平成二十八年度と二十九年度の二力年で登録された件数は十件にとどまった。そこで、登録件数が当初目標の半数であったことから、今後も制度の啓発に努めるとともに、地域や関係団体等とも連携した取り組みを行い、登録拡大に努める。



経済企業委員会

◆有害鳥獣被害対策事業について

本事業は、有害鳥獣による農林産物の被害防止及び市民生活の安全確保を目的に策定した、八代市鳥獣被害防止計画に基づき、平成二十四年度より組織した八代市鳥獣被害対策実施隊による捕獲・駆除活動に対する助成、及び電気柵等の設置費用の一部を補助するもので、決算額は、千六百七十五万一千円で、内訳として、実施隊員百六十七名分の報酬二百七十八万八千円と百六十二名分の費用弁償二百九十五万七千円、及び実施隊員が駆除した鹿二千八十七頭分の補助金千四十一万円が主なものである。

問 鹿の食害は想像以上のものがあるが、その現状をどの程度把握しているのか。また、今後、さらに効果が期待できる施策は検討しているのか。

答弁 鹿等による被害は山間部にとどまらず平野部にまで広がっており、現在、防護柵により対策を行っているが、鹿等の頭数自体が増加しており、かなりの被害額があると認識している。また、今後の対策としては、実施隊員の増強を進めているものの、高齢化が進んでいることもあることから、農家の方でも取り組みやすい、わなによる狩猟免許の取得を推進していきたいと考えている。そこで、狩猟免許を取得された方に対する講習会や、わなの使用方法といったサポートも検討していく。

意見

わなによる狩猟免許も必要であるが、現在設置されている防護柵は、老朽化等により効果を発揮できなくなっているものもあることから、防護柵の点検等に要する予算も確保していただきたい。

その他の主な質疑・意見

- ・産地パワーアップ事業における、事故繰越分の実施めど等について
- ・栽培漁業振興事業における今後の方向性を、要改善とした理由について
- ・栽培漁業振興事業関係については、今後とも県との情報交換を行うとともに、水産業関係係者や漁協と連携して対応していただきたい。

総務委員会

◆市税について

問 市税の滞納対策について

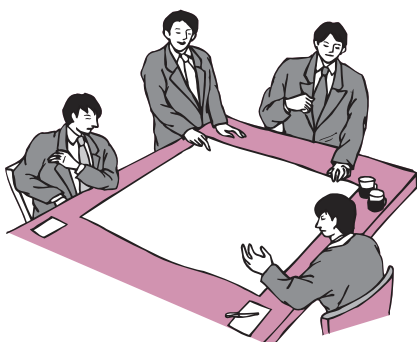
答弁 市税等の納期限を過ぎた滞納者に対しては、まず、納期限から二十日以内に督促状を送付し、滞納者との接触を試みている。その結果、分納相談や納税に関して、応答がなかった滞納者については、財産調査の上、差し押さえなどの滞納処分を行っており、平成二十九年度の実績としては、財産調査が三万二千百七十九件、差し押さえが預貯金、給与等を合わせて千三百六十件であった。

意見

市税は、重要な自主財源であることから、引き続き、滞納対策に努めていただきたい。

その他の主な質疑・意見

- ・地方交付税が減少している要因について
- ・本市公共施設における自動販売機設置料の賦課状況について
- ・本市の経常収支比率に対する認識について
- ・繰越事業に関連して、国の補正内示の時期などにより、やむを得ず事業が繰り越したことになることは認識しているが、年度内の事業完了が原則であると考えていることから、繰越事業が極力出ないよう、努めていただきたい。



文教福祉委員会

文教福祉委員会では、「誰もが幸せを実感できる暮らしの実現」に向け、地域医療と福祉の充実や高齢者と障がい者の見守り、また、健康長寿の推進とより良い教育環境の整備に向けた取り組みについて協議を進めています。

主な調査項目

- 教育に関する諸問題の調査
- 保健・福祉に関する諸問題の調査

所管事項

- 健康福祉部の所管に関する事項
- 教育委員会の所管に関する事項

管内視察について

◎日 程 平成30年10月26日(金)



◆くまがわ教室園

- 小学生への不登校対策など今後の課題について

◆松高小学校

- 小学校児童数増加に伴い校舎増築事業について

◆第五中学校

- プール施設改修に向けた取り組みについて

◆八代支援学校

- 児童生徒の取り組みや今後の課題について

◎日 程 平成30年11月5日(月)

◆「かんねさこ荘」相談事業所

◆地域生活相談支援センター「すまいる」

◆氷川学園相談支援事業所「風車」

- 障害者へのより良い環境や幅広いニーズに対応するため障害者相談支援事業所の更なる展開や今後の課題について情報交換



◎日 程 平成30年11月9日(金)



◆八代ナザレ園

- 児童養護施設において小規模グループケアの新しいモデルについて

◆とら太の会

- 施設開業にあたり、これまでの経緯や今後の課題について

◆八代乳児園

- 複雑な家庭環境に伴う乳児院の必要性や今後の問題・課題について

《管内調査を終えて》

本市における教育・福祉施設の現状把握をテーマに教育施設や福祉関連施設・事業所の視察を行いました。現地での丁寧な対応に心から感謝致します。今後も市民の皆様へ寄り添い「誰もが幸せを実感できる暮らしの実現」に向け、ご期待に添えるよう誠心誠意努力して参ります。

参加委員 上村哲三(委員長)

橋本幸一(副委員長)

金子昌平

鈴木田幸一

野崎伸也

橋本徳一郎

福嶋安徳

建設環境委員会 行政視察の報告

◎日程 平成30年11月6日(火)
～11月8日(木)

建設環境委員会では、本市の最善なごみ減量化対策について全力で取り組んでいきます。さらには自然災害が多発する中、市民が安心して生活できるインフラ整備に取り組んでいきます。

主な調査項目

- 都市計画・建設工事に関する諸問題の調査
- 生活環境に関する諸問題の調査

花巻市（岩手県）

（調査事項）橋守事業について

（調査目的）花巻市は、職員と市民の協働により、適切な橋梁の維持管理を目指し、橋守ボランティアを活用して橋梁の点検を行っている。視察することにより、今後の委員会活動に生かすことを目的とする。



仙台市（宮城県）

（調査事項）下水道アセットマネジメントについて

（調査目的）施設の老朽化に伴う維持管理コストの増大や、慢性的な人員・財源不足に悩む下水道事業において、効率的で持続可能な仕組みである「アセットマネジメント」を導入されている仙台市を視察することにより、今後の委員会活動に生かすことを目的とする。

石巻市（宮城県）

（調査事項）清掃センター解体及び石巻広域クリーンセンターについて

（調査目的）清掃センター解体及び最終処分場整備について、石巻市を視察する。また、石巻クリーンセンターを現地視察し、大震災の経験を踏まえた施設の災害対策や当時の状況等について調査し、今後の委員会活動に生かすことを目的とする。

石巻広域クリーンセンター



施設全景 施設規模 230t/日(115t/24h×2基)

参加委員 中村 和美（委員長）

百田 隆（副委員長）

太田 広則

谷川 登

山本 幸廣

田方 芳信

堀 徹男

平成30年12月定例会採決結果

〔全会一致で可決した議案〕

議案番号	議 案 名
議案第131号	平成30年度八代市一般会計補正予算（第11号）
議案第132号	平成30年度八代市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
議案第133号	平成30年度八代市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
議案第134号	平成30年度八代市介護保険特別会計補正予算（第2号）
議案第135号	平成30年度八代市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）
議案第136号	平成30年度八代市農業集落排水処理施設事業特別会計補正予算（第1号）
議案第137号	平成30年度八代市浄化槽市町村整備推進事業特別会計補正予算（第1号）
議案第138号	平成30年度八代市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算（第1号）
議案第139号	平成30年度八代市診療所特別会計補正予算（第1号）
議案第140号	平成30年度八代市水道事業会計補正予算（第2号）
議案第141号	平成30年度八代市下水道事業会計補正予算（第1号）
議案第142号	専決処分の報告及びその承認について（平成30年度八代市一般会計補正予算（第10号））
議案第143号	指定管理者の指定について（八代市有線テレビジョン放送施設等）
議案第144号	指定管理者の指定について（八代市泉地域福祉センター、八代市泉憩いの家、八代市五家荘デイサービスセンター、八代市柿迫生きがいセンター）
議案第145号	指定管理者の指定について（八代市がらっぱ広場）
議案第146号	指定管理者の指定について（サンライフ八代）
議案第147号	指定管理者の指定について（八代市さかもと温泉センター、八代市坂本憩いの家、八代市広域交流センターさかもと館）
議案第148号	指定管理者の指定について（八代市ふれあいセンターいずみ、八代市農林産物流通加工施設）
議案第149号	市道路線の廃止について
議案第150号	市道路線の認定について
議案第151号	八代市下水道条例の一部改正について
議案第152号	八代市農業集落排水処理施設条例の一部改正について
議案第153号	八代市浄化槽条例の一部改正について
議案第154号	八代市介護保険条例の一部改正について
議案第155号	平成30年度八代市一般会計補正予算（第12号）
議案第156号	平成30年度八代市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）
議案第157号	平成30年度八代市介護保険特別会計補正予算（第3号）
議案第158号	平成30年度八代市下水道事業会計補正予算（第2号）
議案第159号	熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更について
議案第160号	公有水面埋立免許に対する意見を述べることにについて
議案第163号	八代市一般職の職員の給与に関する条例及び八代市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について
請願第1号	日奈久地域におけるクルーズ客船観光客受け入れに伴う整備方について
議案第164号	人権擁護委員候補者の推薦について（山内 郁子氏）
議案第165号	人権擁護委員候補者の推薦について（小藪 裕子氏）
議案第166号	人権擁護委員候補者の推薦について（山中 美紀代氏）

〔賛成多数により可決した議案〕

議案番号	議 案 名	福嶋	田方	成松	増田	金子	北園	百田	上村	高山	前川	橋本	谷川	村川	古嶋	村山	西濱	中村	鈴木	橋本	太田	橋本	庄野	亀田	山本	堀	野崎	大倉	村上
		安徳	芳信	由紀夫	一喜	昌平	武広	隆	哲三	正夫	祥子	幸一	登	清則	津義	俊臣	和博	和美	幸一	隆一	広則	一郎	末藏	英雄	幸廣	徹男	伸也	裕一	光則
議案第161号	八代市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	-
議案第162号	八代市長等の給与に関する条例の一部改正について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	-

○=賛成 ×=反対 -=議長及び欠席者 除=除斥（規定により採決に加われない）※福嶋安徳議員は議長のため採決には加わっておりません

基隆市答礼訪問団歓迎式典開催



握手を交わされる福嶋議長と林副市長

平成三十年十二月十二日(水)台湾の基隆市から林副市長と約二十五名の訪問団が来庁され、本市議場にて歓迎式典を催しました。式では、福嶋議長は「港を中心に発展する八代市と基隆市が、平成三十年四月の友好交流協定の締結をきっかけに、相互交流を一層促進させることで、両市の相互理解と友好互恵が進展することを願ってやみません。」と歓迎の挨拶を述べました。

また、公務のため訪問できなかった林右昌市長の挨拶文を、林副市長が代読されました。その中で、「基隆市政府答礼訪問団が、両市の友情を深めるだけではなく、八代市を初め日本の優れた近代的なインフラ、社会福祉、文化教育、景観環境、交通観光など各分野における様々な施設を視察し、しっかりと勉強し、今後本市の市政運営の参考にできればと期待しております。」と答礼の挨拶をされました。

その後、記念品の交換を行い、固い握手を交わし、両市の友好を深めることとなりました。

編集後記

新しい年を迎え、はや一カ月が経ちましたが、市民の皆さまは、いかがお過ごしでしょうか。二十五日間にわたる、平成三十年十二月定例会は、十三名の議員から質疑・一般質問が活発に行われ、十二月二十日に閉会しました。

次回の三月定例会では、本市の当初予算の審議や市長の市政運営方針の表明が行われます。

ぜひ、多くの皆さまの傍聴をお待ちしております。

また、本年も議会活動の多くの情報をお伝えできるよう取り組んでまいります。

寒暖の差が厳しい時期となります。市民の皆さまにはお体を御自愛いただきますよう、御祈念申し上げます。

八代市議会広報委員会

◎本紙に関する御意見・御要望はこちらまで TEL 32-5984・FAX 33-4440
市役所ホームページアドレス <http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/>

